

## 設立趣旨書

### 1 趣旨

福岡は古来肥沃な土壌をもち、昔から大陸との交流が盛んに行われてきた日本でも極めて古い歴史をもつ都市のひとつです。「土地博く、人・物産多し」の語源をもつ博多は、中世には12人の商人による合議制で治められた日本で初めての自治都市でもあります。江戸時代に入っては、政治の中心である福岡と商業の中心である博多という二つの中心をもち、互いを尊重し合う都市として、現在も発展成長し続けています。

そのような開かれた精神風土が息づく福岡に於いて、学園の精神的基盤であるアントロポゾフィ(人智学)運動が30年以上に渡って行われてきました。その間、人智学や芸術などの大人の学びや、幼児教育や子どもの芸術教室・土曜学校(教室)の取り組みが、人智学という種が芽を出し根を張り、茎を伸ばしてたくさんの枝葉を広げていくように、今日まで継続してなされています。

その豊かな土壌の中からひとつの結実として、2009年4月福岡シュタイナー学園は、初等中等9年間一貫教育を行う全日制フリースクールとして誕生しました。

子どもが子どもらしく、またひとりの人間として尊厳をもって生きることがますます困難になってきている現代にあって、これからの世界を担っていく子どもたちにより良き未来を準備していくのは、大人の当然の責務です。その未来に向けて、どのような時代にあっても子どもの人生全体を通して支え、自らの個性を生かし、また他者と協働しながらより良き社会を創造し、世界の様々な営みに心を寄せ貢献していこうとする諸力を育てていく必要があります。そのためにオーストリアの哲学者・教育実践者であるR・シュタイナーの人間観・世界観に基づく教育活動をこの福岡の地で実践し、深め、そしてより広く推し進めていきたいと考えています。

私たちは次のような学園を目指します。

- ・子どもがその本性を大切に、毎日を生き生きとおくることができる学園。
- ・地域に根差し、福岡の風土の中で育まれる学園
- ・教師と保護者が主体性をもって運営し、共に創り上げる学園

福岡シュタイナー学園は2009年より任意団体として活動し、2016年度現在生徒数が38名となり、2018年春に社会へ向けて初めての卒業生を出すこととなります。団体としても、子どもを取り巻く厳しく苛酷な現実を日常的に見聞きする中、「地域における子どもの教育分野」での社会的貢献の必要性和責任の重大性を益々深く受け止め、この活動をより円滑に遂行し、また子どもの教育環境のさらなる拡充のために、任意団体からNPO法人への移行を決意しました。

### 2 申請に至るまでの経過

- 2009年4月 任意団体 福岡シュタイナー学園を設立し、学園の運営を開始
- 2015年4月 特定非営利活動法人の設立を検討開始
- 2016年9月 発起人会を開催し、定款などの案を審議
- 2016年12月 設立総会を開催

平成28年12月10日

特定非営利活動法人 福岡シュタイナー学園